

ICANN 報告会用語集

アルファベット順

ALAC (At-Large Advisory Committee : At-Large 諮問委員会)

ICANN の諮問委員会の一つで、ICANN の活動の中で個人インターネットユーザー (At-Large コミュニティ) の利益に関わる事項についての検討、および理事会への助言を行います。

現在は、理事会選出メンバー10名と指名委員会選出メンバー5名からなる暫定委員会の形をとっていますが、今後世界5地域それぞれに地域別 At-Large 組織 (RALO : Regional At-Large Organization) が設立された後は、各 RALO から2名ずつ選出される計10名が、理事会選出メンバーに取って代わることになります。

APNIC (Asia Pacific Network Information Centre)

世界に四つある地域インターネットレジストリの一つであり、アジア太平洋地域を受け持っています。APNIC はこの地域の IP アドレス、AS 番号の割り当て・管理を行っています。

APNG (Asia Pacific Networking Group)

アジア太平洋地域のネットワークインフラの発展と、関連技術の研究・開発に貢献するためのインターネット組織です。

ARIN (American Registry for Internet Numbers)

世界に四つある地域インターネットレジストリの一つであり、北米、カリブ海周辺の一部地域、サハラ以南のアフリカ大陸を受け持っています。ARIN はこの地域の IP アドレス、AS 番号の割り当て・管理を行っています。

ASO (Address Supporting Organization : アドレス支持組織)

ICANN の基本構造となる三つの支持組織の一つであり、IP アドレスというインターネット資源をいかに運用するか議論し、ICANN 理事会に勧告を行う役割を負っています。

ccNSO (Country Code Names Supporting Organization : 国コードドメイン名支持組織)

ICANN の基本構造となる三つの支持組織の一つであり、国コードトップレベルドメイン (Country Code Top Level Domain : ccTLD) に関するグローバルポリシーを策定し、ICANN 理事会への勧告を行う役割を負っています。

ccTLD (Country Code Top Level Domain : 国コードトップレベルドメイン)

各国/地域に割り当てられたトップレベルドメインです。ccTLD は、ISO (国際標準化機構) の ISO3166 で規定されている2文字の国コードを原則として使用しています。

DNS Wildcard

DNS の基本機能の一つ。リソースレコードを記述する際に、特殊なラベル「*」で始まる名前を用いることにより、そのゾーン内に存在しない名前すべてに一致させることができる機能のこと。

DRP (Domain Name Dispute Resolution Policy : ドメイン名紛争処理方針)

ドメイン名の登録・使用に関して登録機関以外の人・組織と登録者との間に生じた紛争を処理するための規則。 .com .net .org などの gTLD に適用される UDRP、JP ドメイン名に適用される JP-DRP などがあります。UDRP、JP-DRP では、対象とする紛争を、商標に類似のドメイン名について当該商標権者との間に生じた紛争に限定しています。現在多くの ccTLD がそれぞれ独自の DRP を定めています、そのほとんどが同様の限定を行っています。

ENUM (Telephone Number Mapping)

電話番号をキーとして DNS を検索することにより、その電話番号に対応している利用可能な一つもしくは複数のアプリケーションを URI 形式で得る機構です。これにより、その URI で指定されたアプリケーション、たとえばその時点で利用可能な IP ネットワーク上の電話やメールなどへ接続が可能になります。

GAC (Governmental Advisory Committee : 政府諮問委員会)

ICANN の諮問委員会の一つで、各国政府の代表などで構成されています。各国政府の立場から ICANN の理事会に対して助言を行っています。

GNSO (Generic Names Supporting Organization : 分野別ドメイン名支持組織)

ICANN の基本構造となる三つの支持組織の一つであり、分野別トップレベルドメイン (generic Top Level Domain : gTLD) に関するポリシーを策定し、ICANN 理事会への勧告を行う役割を負っています。

gTLD (Generic Top Level Domain : 分野別トップレベルドメイン)

従来、世界の誰もが登録できる .com .net .org と、登録にあたって一定の要件が必要とされる .edu .gov .mil .int の七つがありましたが、2000 年 11 月に新しく七つの gTLD (.biz .info .name .pro .museum .aero .coop) が追加されることが決定し、これらも順次運用が始まっています。この新 gTLD にも、誰でも登録できるものや、個人向け、特定の業界向けのものなど、様々な性質のものがあります。

IANA (Internet Assigned Numbers Authority)

ドメイン名、IP アドレス、プロトコル番号など、インターネット番号資源のグローバルな管理を行っていた組織。2000 年 2 月には ICANN、南カリフォルニア大学、及びアメリカ政府の三者の合意により、IANA が行っていた各種資源のグローバルな管理の役割は ICANN に引き継がれることになりました。現在 IANA は、ICANN における資源管理、調整機能の名称として使われています。

ICANN (The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)

トップレベルドメイン名の割り当てを含む DNS 管理に関する調整業務、IP アドレス割り当ての方針の決定、DNS ルートサーバの運用管理などを目的とする組織です。1996 年終り頃に起った新 gTLD 創設に関する議論を発端として多くの議論が積み重ねられた結果、1998 年に米国カリフォルニア州の非営利民間法人として設立されました。

ICANN 改革

2002年2月24日に、当時の ICANN 事務総長であった Stuart Lynn 氏が、ICANN の抱えるさまざまな問題点を指摘し、ICANN の本来の使命を達成するために必要な改革案を提示する報告書を提出しました。これが契機となり始まった一連の議論・活動を総称し、ICANN 改革と呼んでいます。

IDN (Internationalized Domain Name : 国際化ドメイン名)

ドメイン名を表す文字として ASCII 以外の文字も使えるようにするための技術です。RFC3490、3491、3492 で規定されています。

IETF (Internet Engineering Task Force)

インターネット技術の標準化を推進する任意団体です。

ISOC (Interet Society)

非営利の国際組織で、インターネット技術およびシステムに関する標準化、教育、ポリシーに関する課題や問題を解決あるいは議論することを目的としています。

ITU (International Telecommunication Union : 国際電気通信連合)

電気通信に関する国際標準の策定を目的とした組織で、1947年から国連の組織として運営されています。加盟国は189ヶ国(2004年2月現在)で、本部はスイスのジュネーブにあります。ITUは主に、電波の国際的な分配および混信防止のための国際的な調整、電気通信の世界的な標準化の促進、開発途上国に対する技術援助の促進などの活動を行っています。

LACNIC (The Latin American and Caribbean IP address Regional Registry)

世界に四つある地域インターネットレジストリの一つであり、ラテンアメリカとカリブ海地域の IP アドレス、AS 番号の割り当て・管理を行う組織です。地域インターネットレジストリの一つとして、2002年10月の ICANN 上海会議にて最終承認され、独立運用を開始しています。

LIR (Local Internet Registry : ローカルインターネットレジストリ)

一般的にインターネットサービスプロバイダ (ISP) のことで、主として自身が提供するネットワークサービスのユーザーにアドレス空間を割り当てるインターネットレジストリを指します。

NIR (National Internet Registry : 国別インターネットレジストリ)

国別に組織されたインターネットレジストリを指します。地域インターネットレジストリ (RIR) よりアドレスブロックの割り振りを受け、それをローカルインターネットレジストリ (LIR) に再割り振りを行います。JPNIC は NIR にあたります。

NRO (Number Resource Organization)

APNIC、ARIN、LACNIC、RIPE/NCC の四つの RIR により 2003 年 10 月 24 日に設立された非営利組織で、将来的に法人組織となる可能性があります。NRO は RIR 全体として外部組織との調整が必要な場合に全 RIR を代表する組織となります。また万が一、ICANN が IANA 機能 (IP アドレス・AS 番号の資源管理機能)、グローバルポリシーの批准機能を失った場合に、ICANN に替わってこれらの機能を担うことが想定されています。

PDP (Policy Deployment Process : ポリシー策定プロセス)

ICANN の役割の一つに、インターネットの各種資源の調整業務に関連するポリシー策定があり、このポリシー策定のための一連の流れをポリシー策定プロセス (PDP) と呼んでいます。ICANN 改革を受けて改定された新付属定款には、プロセスの詳細が明確に規定されています。

RALO (Regional At-Large Organization : 地域別 At-Large 組織)

個人インターネットユーザーが ICANN プロセスに参加するための枠組み。RALO は、さらに複数の自主運営の現地 At-Large 組織 (ALS : At-Large Structure) により構成されることになっています。

RIR (Regional Internet Registry : 地域インターネットレジストリ)

特定地域内の IP アドレスの割り当て業務を行うレジストリです。現在、APNIC、ARIN、RIPE NCC、LACNIC の四つがあります。JPNIC の IP アドレスの割り当て業務は、APNIC の配下で行っています。

RIPE NCC (RIPE Network Coordination Centre)

世界に四つある地域レジストリの一つであり、ヨーロッパ、中近東、北アフリカ、アジアの一部を受け持っています。RIPE NCC はこの地域の IP アドレス、AS 番号の割り当て・管理を行っています。

RSSAC (Root Server System Advisory Committee : ルートサーバーシステム諮問委員会)

ICANN の諮問委員会の一つで、ルートサーバ管理者の立場から ICANN の理事会に対して助言を行っています。

SSAC (Security and Stability Advisory Committee : セキュリティと安定性に関する諮問委員会、旧略称 SECSAC)

ICANN の諮問委員会の一つで、インターネットのネーミングおよびアドレス割り振りシステムのセキュリティと完全性に関する問題について、ICANN コミュニティおよび ICANN 理事会に対して助言を行います。SSAC は、ルートサーバ運用管理者、gTLD/ccTLD 運用者、レジストラ、RIRs などの技術関係者 20 名によって構成されています。

WSIS (World Summit for Information Society : 世界情報社会サミット)

情報社会をテーマとした国連サミットであり、第 1 回目は 2003 年 12 月にスイス・ジュネーブにて開催されました。第 2 回目は 2005 年チュニジア・チュニスにて開催される予定です。

WIPO (World Intellectual Property Organization : 世界知的所有権機関)

知的財産権の保護促進を目的とする国際機関で国連専門機関の一つです。